

## 日本医学会分科会活動報告

一般社団法人 日本生理学会  
理事長 石川 義弘

日本生理学会の活動について、下記の通り、ご報告させていただきます。

### [分科会としての活動]

貴学会の日本医学会分科会としての過去5年間の活動の自己点検について記載してください。

- I. 医学および医療の水準の向上への貢献が日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会の独自の活動を以下に留意して記載をしてください。
  - a. 特に学術的に重要と考えられるもの

### 1) 学術集会の開催

大会と地方会を開催して、生理学研究者の学術活動と交流の場を提供している。また、若手研究者を育成するために、若手研究者や学生に研究成果を発表し国内外のトップクラスの生理学研究者と交流する機会を提供している。生理学会大会は下記の通り開催された。

2017年 第94回日本生理学会大会（浜松）

2018年 第95回日本生理学会大会（高松）

2019年 第96回日本生理学会大会（神戸） 第9回アジアオセアニア生理学会連合大会との合同大会として開催された。

2020年 第97回日本生理学会大会（大分 Covid-19感染拡大のため誌上開催）

2021年 第98回日本生理学会大会（名古屋 オンライン開催） 第126回日本解剖学会学術集会との合同大会として開催された。

2020年以降のコロナ禍においても、オンライン開催により活発な学術交流の場を確保している。

### 2) 学会誌の刊行

英文誌 Journal of Physiological Sciences (IF = 2.804) はオープン・ジャーナルとして生理学および関連分野の質の高い論文を掲載している。和文誌「日本生理学雑誌」は、生理学会会員が研究活動および教育活動に関する情報を発信し交流する場を提供している。

### 3) 研究・教育活動

生理学は「生命機能」に関わる広範な学問領域を包含する。そのため研究分野は多様であり、生理学会会員の背景も医学、薬学、歯学、獣医学、看護学、体育学、栄養学、東洋医学（鍼灸・漢方）、理学療法学、生命科学、システムズ生物学、生体医工学、情報通信工学、生理学教育など多様である。その多様性と異分野融合を基盤として活発な研究活動を行い、生命機能の理解と病態の解明に貢献している。生理学および関連諸分野における、会員の研究成果の紹介記事を生理学会

ホームページ「サイエンストピックス」に掲載し、広く社会に発信している。

生理学教育において優れた教育能力と広い知識を備えた人材を育成する目的で、「生理学エドゥケーター制度」を2015年から実施しており、現在、378名が認定を受けている。

#### b. 当該領域における国際的な役割

日本生理学会が世界の生理学研究者コミュニティにおいて役割を果たすべく、国際交流委員会（久保義弘・国際交流委員会委員長・副理事長）を設置して活動している。世界生理科学連合(IUPS: International Union of Physiological Sciences)において Council member および Commission VI—Molecular and Cellular の chairperson を務め、アジアオセアニア生理学会連合(FAOPS: Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies)において Secretary-General を務めるなど、主導的役割を果たしている。2019年に神戸において第9回アジアオセアニア生理学会連合大会を開催し、世界中から生理学者が集い活発な学術活動を行った。

#### c. 活動からもたらされる社会的な意義

日本生理学会は、研究活動を通じて健康や疾病の治療と予防に貢献している。生理学の研究は病態解明に繋がり、理学療法や東洋医学などの研究は疾病の治療と予防に資するものであり、さらに運動生理学の研究はロコモ・フレイルの予防に貢献するものである。

また、生理学の教育やアウトリーチ活動を通じて、次世代の医学研究や生命科学研究を担う人材の育成に貢献している。日本生理学会大会では、中学生・高校生の参加枠を用意し、学会への参加と発表の機会を開いている。

#### d. 学会運営上留意している点

次世代の生理学研究を牽引する人材を育成するために、優れた若手研究者に対して学会賞（日本生理学会奨励賞、入澤宏・彩記念若手研究奨励賞）を授与している。また、研究者のダイバーシティに配慮し、男女共同参画推進委員会による啓発活動や学会開催期間中の託児所解説に加えて、今年度から新たにライフイベント支援制度を開始した。さらに、優れた女性生理学者の研究を奨励することを目的として入澤彩記念女性生理学者奨励賞を授与している。

## II. 日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会と他の分科会との連携による活動を記載してください。

日本生理学会大会において、他学会（日本薬理学会、日本解剖学会、日本病態生理学会、日本神経科学会、日本内分泌学会、日本体力医学会、日本鍼灸学会、日本理学療法学会 など）との連携シンポジウムを開催している。第98回日本生理学会（2021年3月）において、日本解剖学会と合同で日本医学会連合連携フォーラムを開催し、日本生理学会、日本解剖学会、日本免疫学会、日本再生医療学会、日本癌学会、日本生化学会から講演者を招聘した。

日本解剖学会と2011年、2015年、2021年に合同大会を開催し、学術交流を続けている。

2025年に日本生理学会・日本解剖学会・日本薬理学会の合同大会の開催を予定している。